

令和3年度 学生FD CHAmmiT 学部提案書に基づく改善報告書

日本大学では、FD活動に学生の声を反映させながら教育力の向上を目指すべく、平成25年度より、16学部87学科、短期大学部4学科、通信教育部を対象に学生・教員・職員が一堂に会して学生FDや本学の教育について理解を深め、気軽な雰囲気の中で語り合う「日本大学 学生FD CHAmmiT（ちゃみっと）」を開催しております。全学規模のイベントとなっており、例年、各学部等から200名以上の参加者を得て開催しております。令和2年度及び令和3年度においては、コロナ禍の影響により、オンライン（Zoom）開催いたしました。

令和2年度のCHAmmiTでは、「オンライン授業のミライのカタチ」として、オンライン授業の改善・要望等を話し合い、学部への提案書を作成しました。これを踏まえて、効果的な教育改善の実現に繋がるよう、薬学部において学生との協議の場を設け、「改善報告書」を作成いたしました。

第9回目の開催となる令和3年度においては、薬学部で作成した令和2年度の改善報告書の内容をどこまで達成しているのか現状を整理した上で、さらに新たな課題及び提案にも目を向け、「アフターコロナ～IT化と大学教育～」について話し合い、薬学部への提案書を作成いたしました。令和2年度と同様に、令和3年度も学生・教員・職員の三者で協議した上で「改善報告書」を作成いたしましたので、御覧いただきますようお願いいたします。

今後も薬学部では、教育の質や改善について検討を重ね、より良い教育環境づくりに努めていきます。

日本大学FD推進センター
日本大学薬学部FD委員会

令和3年度 学生FD CHAmmiT 学部提案書に基づく改善報告書

【薬学部】

1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和4年2月17日	CHAmmiT参加者（教職員含む）及び学生スタッフ、薬学部FD委員会委員長、委員及び幹事の計8名がZoomを使用して、学部提案書について35分程度、実現に向けて意見を共有しました。

2 学部提案書の対応について

① 昨年度報告書の状況

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
・配信側の通信トラブルについて	○			令和2年度オンライン授業開始時に多発した配信（大学）側の通信トラブルについては、本学部情報ネットワーク委員会並びにIT支援室の対応により令和3年度は解消しており、受信（学生）側のトラブルについても対応手順やオンライン授業受講に関する手順をLMS上で紹介し、トラブル発生時には個別に対応することで令和3年度においては新入生も含めトラブルなくオンライン授業が実施されました。

② 新たな課題

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
・6年生以外も使用できる自習室の開放 について	○			学生間の対面学修の重要さは理解できるものの、コロナ禍にあっては感染拡大防止のための方策を実施することが重要です。感染拡大の状況に鑑み、令和3年11月から総合講義試験（卒業試験）や国家試験を控えている6年次生に対しては、一部制限を設けた上で2号館2階多目的ホールを自習スペースとして開放し、同様に令和4年1月からは全学生を対象に8号館1階自習室と2号館2階多目的ホールを自習スペースとして開放しています。
・サークル活動について	○			正課外活動（サークル活動等）についても令和3年度の緊急事態宣言下においては、各サークルにオンラインでの活動（交流）を要請しました。令和4年度は感染拡大防止策を講じた上で、通常の活動形態でのサークル活動、スポーツ大会及び学部祭の実施を予定している旨、令和4年1月開催のサークル代表者会議にて通知しています。
・他学部の授業受講について	○			相互履修制度の中で、他学部開講科目（指定された相互履修科目）の受講が可能です。本相互履修制度については、本学部の授業日程との重複又は本学部の立地等により本学部学生の利用が消極的ではありましたが、令和4年度の相互履修開講科目の情報提供に注視し有効に活用してください。相互履修科目の講義の実施形態は実施学部ごとに異なりますが、今後、学生がより受講しやすい実施方法について全学的に検討する必要があると考えています。

令和3年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく改善報告書

【薬学部】

③ 「IT化と大学教育」へ向けての提案について

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
・オンライン授業における教員・学生間の意思疎通方法について	○			オンライン授業に対する学生の理解度に関しては、授業後に実施するLMS内の小テストで確認することを基本としています。また、ライブ配信授業内で質問がなされた場合はその場でフィードバックを行うことで、学生の授業への理解度を測る方法も取られています。
・オンライン授業におけるライブ配信とオンデマンド配信の使い分けについて	○			令和3年度の本学部のオンライン授業は基本的にはライブ配信が中心となりましたが、コロナ禍による時間割の変則運用や緊急事態宣言下での教員の通勤などの事情により、オンデマンド配信による実施とせざるを得ない状況も発生しました。一方で、オンデマンド配信は、不明な点を何度も再生できることにより理解が深まったと、学生による授業評価等で御意見もいただいております。令和4年度からは対面授業が再開されますが、基礎疾患等の特別な理由がある学生については申し出によりライブ配信による講義科目の受講が許可されます。さらに、講義科目は収録し履修者に一定期間オンデマンド配信されることが予定されていますので、対面授業受講後にオンデマンド配信を活用し復習を行うことが可能となります。
・オンライン授業における課題提出方法の統一化について			○	課題の提出形式については教員により処理（管理）方法が異なるため形式の統一は困難です。教員の課題提出に関する指示（期日や形式）が不明瞭で学生が困惑することのないよう、指示内容の明瞭化の徹底については改善するように対応します。
・理解度をリアルタイムに把握できる授業アンケートシステムの構築について		○		授業に対する理解度の把握や質問対応の共有化は授業運営に大変重要ですので、LMS内のアンケートやクリッカー機能の積極的な利用促進について前向きに取り組めます。教員、学生共にIT活用に慣れてきたことに鑑み、令和4年度からの対面授業再開の中でどのようにオンライン授業のメリットを継続し展開させるべきか、前向きに検討します。
・オンライン授業における確認試験や小テスト等の成績評価と真の実力（知識）の関係について		○		各授業での小テストと総合的な評価を行う定期試験等の関連については大変重要な事項ですので、学務委員会及びFD委員会において検証します。

※①～③については、令和4年4月1日現在の対応内容となっており、今後の状況によって変更する可能性があります。

3 薬学部から学生へのメッセージ

長期間に及ぶコロナ禍でのオンライン授業に本学部学生の皆さんが常に前向きに取り組み、より良い大学教育のためのFD活動にも参加して下さることに感謝しています。今後も、学生の皆さんとともに教職員が一丸となって教育改善に取り組み、皆さんの目標実現のために最善を尽くしたいと考えています。皆さんも大学のリソースを最大限に活用し、学修に励んでください。